

情報発信力の強化に努めよ

山田町長／「広報ひろの」を有効的に活用し強化に努める

北郷

「広報ひろの」により町生活情報を発信しています。情報が、さらなる強化と充実をはかるため、全世帯に情報機器「デジタルフォトフレーム」を配り、電子掲示板で情報を発信すべきではないですか。

報発信を行っています。

デジタルフォトフレームについては、電子掲示板の役割を果たす有効な手段であるとは認識しております。

町長

町では、広報ひろのやホームページ、モバイル版ホームページなどで情報発信を行っています。月2回のペースで行っている「広報ひろの」での情報発信の形態が、町民の皆様と格差なく情報を伝達する手段として有効であると考えていますので、今後とも情報発信の強化に努めていきます。



▲月2回のペースで発行している「広報ひろの」

町の放射線量設定値は

山田町長／推定年間被ばく線量の50%減少した状態を目指す



北郷 幹夫 議員

北郷

町民の帰還に際して、目安とする町内の放射線量の設定はどのような基準ですか。

町長

国の緊急実施基本方針にも示されているように、町民の帰還に伴う除染実施の具体的な目標として、現在の年間被ばく線量を約50%減少した状態を目指します。

一般住宅の除染対策はいかに

山田町長／除染マニュアルを作成し配布する

北郷

住居の除染は、住民が自ら実施する事になると思いますが、初めてのケースで戸惑いもあり、スムーズな除染を実施するには、除染マニュアル等を作成し、町民への指導をはかるべきではないですか。

町長

生活環境中における放射性物質を、地域住民自身の清掃活動において除去する際の留意事項や放射性物質の処理・取り扱いおよび放射線に関する基礎知識について取りまとめた冊子を作成し、町民の皆様周知いたします。



▲町内各地の空間線量を計測する東電社員